



明治三十二年九月発行

歌舞伎  
十八番以内

# 毛抜

市川右團次



馬名清世

市川右團次

一、江戸中興以来、歌舞伎の発展は、常に新劇の興隆と共に進歩して来た。其の代表として、市川右團次の名が挙げられる。右團次は、江戸中興の頃から活躍し、其の演技は、常に観衆を魅了して来た。其の代表作として、『毛抜』が挙げられる。この劇は、右團次の演技を最もよく表現している。其の演技は、常に観衆を魅了して来た。其の代表作として、『毛抜』が挙げられる。この劇は、右團次の演技を最もよく表現している。

市川右團次

歌舞伎  
毛抜